



なないろ

『金メダルをもたらした指導に学ぶ!』

(幸せをめざして PART 27)
所長 小野 真

北京オリンピックのスキージャンプ男子ノーマルヒルで、小林陵侑選手が金メダルを獲得しました。長野大会以来、24年ぶりの金メダル獲得に日本中が熱中し歓喜をあげました。

この小林選手の非凡な才能をいち早く見抜いたのが、所属チームの監督を務めているレジェンド・葛西紀明氏でした。とはいえ、葛西監督が毎日付きっきりで教えているわけではなかったようです。小林選手が大きな壁にぶつかって挫折を味わい「もっと強くなりたい」と感じた時、秘伝の門外不出の「葛西メソッド」を伝授するタイミングと確信していたようです。

編み出したプレッシャーに打ち克つ呼吸法「レジェンド・ブレス」を教え、つまずきの最大の原因である「膝戻」を克服させたことで自然体で試合に挑めるようになったそうです。そして、日本のエースに成長し、金メダル獲得に導かれたのです。

私は、小林選手の挫折を克服するための努力の素晴らしさにも感動しましたが、葛西監督の指導の奥深さにも学ばせられました。選手の素質や性格そして課題をしっかりと見極め自分の力でまず解決する努力を促し、挫折することを視野に入れて一番吸収力のある時期に的確に指導するタイミングです。

このことは、虹の家の利用者の皆さんの支援のあり方にも生かせるように思っています。利用者の皆さんの取組について達成可能であるかの有無を把握し、支援の出場を見極める判断の重要性です。例えば、作業においてつまずいているからと直ぐにやり方を教えるのではなく、我慢して見守りながら「もう少し後押ししてやれば完成しそうな時」「やり方を変えた方が達成しそうな時」「けがをする可能性が高いと判断した時」など一番効果が上がるタイミングに支援することです。

虹の家では、経営の根底に褒める支援を位置づけています。利用者の皆さんの実態に応じての「待ちの支援」も大切にしていきたいものです。虹の家の利用者の皆さんが自分の目標を達成するための大きな要因の一つに職員の適切な支援が大きく影響を及ぼしていることは間違いありません。葛西監督が小林選手にもたらした指導力に負けない力量を私たち職員も身に付ける努力をして行かなければならないことを実感しています。



感染させない3つの条件

これまでの集団感染は、「換気の悪い密閉空間」「手の届く距離に人が密集」「近距離での会話・発声」の3つの条件が同時に重なった場で発生が確認されています。

この3つの条件ができるだけ同時に重ならないようにすることが対策です。当事業所においても取組を進めているところです。ご家庭においてもご協力お願い致します。

＜集団発生リスクを下げるための3原則＞

1. 換気を励行する

窓のある環境では、可能であれば2つの方向の窓を同時に開け、換気を励行しましょう（ただし、どの程度の換気が十分であるかの確立した科学的根拠はまだ十分にありません）

2. 人の密度を下げる

人が多く集まる場合には、互いの距離を1～2m程度あけるなどして、人の密度を減らしましょう。

3. 近い距離での会話や発声、高唱を避ける

△☆▼今年度開設した「生活介護」事業も
充実した取組を進めています。◇●☆



【作業も頑張っています】



【創作活動の時間の割合が増えます】



鬼は外！ 福は内！
福は内！ 福は内！
鬼は外！ 福は内！ 鬼は外！
鬼は外！ 福は内！ 福は内！